

鹿追町総合計画策定会議 第2回教育専門部会記録

開催日時 平成22年7月23日(金)19:00~20:30  
場 所 町民ホールセミナー室B

参加委員 福原尋義部会長、菊池輝夫部会長代理、若原政雄委員、木幡裕人委員、  
武田耕次委員、大原睦生委員、河辺哲子委員、藤江操委員、  
戸草勢一委員、伊藤義一委員

欠席委員 なし

策定委員会、事務局 末永収 WG リーダー、大前健也 WG サブリーダー、  
横山利幸学校教育指導室長、田中朋子

---

(発言概要・素案意見概要)

幼児教育について

「4教職員の研修」でB判定になった理由である「特別支援」研修充実に関し、次期計画に網羅する

家庭教育について

家庭教育は特に重要であると考えているので、具体的に盛り込んでほしい

幼保一元化について

幼保一元化は魅力あるもので部会として進めていきたい

小中高一貫教育について

カナダ学について素晴らしいものなので指定校がなくなっても続けてほしい  
小中高一貫教育で精神的な強さを養う機会が少なくなっているのではないかと感じる

自己判断力・決断力・自立・自主性について

- ・社会全体に自己判断力や自立が衰退していると感じる
- ・小中高一貫教育で精神的な強さを養う機会が少なくなっているのではないかと感じる

「生きる力」を強調した素案にしたい

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第3回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年8月18日 19:00 ~ 21:10			
開催場所	鹿追町民ホール セミナー室 A			
会議次第 配布資料等	会議次第は特になし 当日配布資料はなし			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 福原 尋義	出	戸草 勢一
	出	代理 菊池 輝夫	出	伊藤 義一
	欠	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	出	武田 耕次	出	学校教育指導室長
	出	大原 睦生		横山 利幸
	欠	河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	出	藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要	鹿追町教育委員会の施策・事業評価調書に添って B判定の理由を中心に説明			
末永課長	<p>【1】</p> <p>第3章 第1節 特色ある学校教育のために 小・中学校教育内容・方法の改善充実 2. 学習指導の改善充実 1～7を説明 ・B判定の理由 「2. 学習指導の改善充実(1)」 全国学力テストで北海道は全国から比べ下位 B判定(鹿追はH21中学校 全道と比べ上。小学校 全道並み) 「3. 道徳教育の充実(1)」 各学校道徳の授業で公開参観日を実施。「心のノート」さらに深める、目標値を高く設定しているためB判定 「4. 生徒指導の充実(1)」 学校教育ばかりでなく家庭との分担など、目標値を高く設定しているためB判定。ただし、いじめ・不登校に関しては迅速に・不登校は常にその子に関わり努力している。</p> <p>【2】</p> <p>2. 学習指導の改善充実 8～13を説明 「11. 情操教育の推進」 ライディングパークを強調しすぎている部分がある。現在は、ライディングパークでの学習の他に、学校で動物を飼う、あるいは野菜を育てたりしている。ある程度的情操教育はしているが、これが限られた時間であり、「健やかな体の育成」を考えていくには、もう少し工夫が必要という判断でB。 「12. 健康安全教育の充実」 先生方や指導主事も配慮して行っているが、</p>			

<p>大前課長</p>	<p>特に中学生は思春期に当たり完全ではないと判断し、B判定。</p> <p>【3】</p> <p>社会教育について。評価の前提として町内にはさまざまな生涯学習施設があり、それぞれ目的と意義を持つが、全ての町民が利用しているわけではない。</p> <p>内部の評価としては、文化関係学習会やスポーツ関係の教室にかなりの人数が参加したならば評価をAにしているが、少ない人数で教室等開催された場合は、社会教育全体として達成できた判断材料に乏しく、「おおむね達成できた」Bランクとしている。まだまだ上があると判断になっている。</p> <p>第3章 第2節 自ら学び行動する人間形成と心豊かな地域社会を目指して生涯学習支援システムの充実 全てB判定</p> <p>「1. 指導者・リーダー等人材育成」 ライフアカデミーマイスターは56種目90人登録、定期的に活動をやっているのは31種目。まだまだなのでB判定。</p> <p>「2. 学習サービスの向上」 H20年度は町の広報を通じて情報提供を行っている。こどもの活動情報が少なかった。H21はこれを反省し、子どもの活動紙を発行している。</p> <p>「3. サークル・団体の育成」 あたらしいサークルが出来る状況になっている。現状維持をしているのも重要。活動を側面で支援がまだまだなのでB判定。</p> <p>「4. 幼児家庭教育学習活動の充実(1)」 すくすく5月から3月、0歳児から6歳児全ての家庭に送付。食育・しつけ等、情報提供をしている。家庭教育の重要性を紙面通じての情報なのでB判定</p> <p>「(2)」 父親に対する場面を提供する事がなかなかできずB判定。</p> <p>【4】</p> <p>学習活動の充実</p> <p>「1. 青少年の学習活動の充実(1)」 子ども会活動がH20停滞していたのでB</p> <p>「(2)」 H20はピュアモルトクラブが自分たちだけで活動しており、社会に対する貢献して欲しいのでB。その結果、H21は子どもたちと夏まつりを実行している。</p> <p>「2. 成人の学習活動の充実(1)」 H20は大人のしかおい学を検討。H21で実施、プレ公開実施。次の生涯学習の位置付けしたい。</p> <p>「(2)」 全体に30名くらいになっているので、今後広げたいのでB。</p>
-------------	---

<p>議事概要</p>	<p>学校教育について  学力テストの点数は学習の基礎になるものであり、教育の全てに繋がっているため重要と考える。  学力テストの点数ばかりにこだわらない方が良い  学校現場（生徒と先生・先生同士）での信頼関係づくりと信頼関係を築くために必要な環境づくりが重要  家庭や社会での道徳教育が低下しているので、学校に頼らなければならない結果になっている  第6期では「食と食育について充実を図る」と入れて欲しい  地道な一つ一つの指導や学びの充実こそが重要であり、あれもこれも施策として取り入れることは、結果子どもの負担になると危惧する  先生方の負担を減らすためにも、40人学級ではなく、少人数の学級づくりを目指し努力してほしい</p> <p>社会教育について  時代の流れで社会教育に求められるものが変化していく中、社会教育のあり方について再考の必要がある  異世代・異業種交流を進めてほしい  人材の適正配置に疑問</p>
<p>他部会との  関連事項  提言・提案等</p>	<p>（総務部会関連事項）</p> <p>教育部門人材の適正配置に再考をお願いしたい。  （理由）  教育に関し、サポートする職員体制が薄くなっている。教育は人をどうつくるか育てるかという課題を常に抱え、それに答えていかなければならない。しかし、現在は人材が不足していると感じる。  特に社会教育においては紙の量で事務処理の量を計れるものではない。個々の職員能力の問題ではなく、機能的に動ける職員体制を望む。</p>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第4回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年9月17日 19:00 ~ 20:30			
開催場所	鹿追町民ホール ミーティング室			
会議次第 配布資料等	会議次第は特になし 当日配布資料はなし			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 福原 尋義	出	戸草 勢一
	出	代理 菊池 輝夫	出	伊藤 義一
	出	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	出	武田 耕次		
	出	大原 睦生		
	欠	河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	出	藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要	鹿追町教育委員会の施策・事業評価調書に添って B判定の理由を中心に説明			
大前課長	<p>【1】</p> <p>第3章 第2節 自ら学び行動する人間形成と心豊かな地域社会を目指して</p> <p>・国際化・情報化への対応 全てA判定</p> <p>・芸術文化の振興</p> <p>「2. 芸術文化事業の充実(1)」 B判定 H20年度評価であり、町民ホールが満館になることがなかったので、より上を目指すという意味でB判定とした。H21年度評価だと、海援隊で満館になったのでA判定となると思う。</p> <p>「4. アートギャラリー等の建設」 D判定 有利な補助事業等があるならば進めて行きたいが、現段階では規模・内容が煮詰まっていないのでD判定とした。</p> <p>・学びの環境づくり</p> <p>「1. 学びのネットワークづくりの推進」 B判定 H20年度評価は100%ではないのでB判定とした。H21年度評価でいえば、不審者情報などにより地域でパトロール隊を結成。地域と一体となったネットワークづくりができたのでA判定だと思う。</p> <p>「2. 図書館活動の充実」 B判定 ボランティアの研修ができていないことを反省し、B判定。</p> <p>「3. 図書館の建設と図書館資料」 B判定 図書の実績は図っているが、新図書館は建っていないのでB判定とした。</p> <p>「4. 郷土資料館の建設」 B判定 旧商工会館を改築したが、町民に公開して</p>			

	<p>いなかったのでB判定とした。ただし、H22 に関しては一般公開し、今後も年に一度は公開して行きたいと考えている。</p> <p>「5. 子ども科学館の建設」 D判定 次回の総合計画で必要性、削除を考えていきたい。</p> <p>第3節 スポーツ愛好のために</p> <p>・生涯スポーツの推進</p> <p>「1. スポーツの普及振興(2)」 B判定 一部の大会で事業が進んでいないのでB判定とした。</p> <p>「2. スポーツ団体等の育成強化(2)」 B判定 各単協会員が増えない、高齢化が進んでいるので目標を高く設定しB判定とした。</p> <p>・スポーツ施設の拡大</p> <p>「1. 施設の整備推進(2)」 D判定 H20年度評価なので。H21年度に野球場のバックネット改修し照明灯を一部設置した。</p> <p>「(3)」 B判定 一部の施設は老朽化している。すべてのものが修理できているわけではないのでB判定。</p> <p>「(4)」 B判定 毎年リストアップして修繕を続けている。</p>
--	---

<p>議事概要</p>	<p>社会教育について</p> <p>図書館・郷土資料(郷土資料保存館・郷土資料室)について</p> <p>現在の図書館は狭く、老朽化しており、運営に支障があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新図書館の建設となると、財政的に厳しいのではないか。目先の改修ではなく、将来を見据えた改善にする必要がある。</li> <li>・図書館の2階の活用(郷土資料室のあり方の再考・閲覧室やカンファレンス室などへの転換)を考えてはどうか。一方、目的外使用や図書の本数のため、人員の配置などの問題も生じる</li> <li>・新図書館の建設については、継続して要求していきたい。</li> </ul> <p>科学の進歩等対応できるようにコンピュータ(インターネット)を配置してはどうか。一方、維持管理や長時間使用などの課題も残る。</p> <p>郷土資料については、郷土資料保存館と郷土資料室の2つを管理することになるので、一元化できないか</p> <p>郷土資料について、使い方が分かる人が減っているため、将来を見据え、使い方(使っている場面)を動画にして残す必要がある</p> <p>美術館のあり方について</p> <p>神田日勝記念美術館には、美術館としての業務(美術の収集・資料の研究・普及)を行う必要がある</p> <p>スポーツについて</p> <p>スポーツは地域活性化や仲間づくりにも役立っている</p> <p>サッカー場がないというアンケート結果(意見)について</p>
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの人数の問題、維持管理の問題も生じる</li><li>・だからと言ってサッカー場をつくらないのは政策としてどうなのだろう</li></ul> <p>その他</p> <p>子どもたちの精神体力、心の問題をどこに相談していいのだろうか。福祉課には多忙感がある。地域の中で見守っていける鹿追町になってほしい</p> <p>地域として子どもたちの居場所づくりをやっていきたい</p> <p>貧富の格差(貧しいこと)が子どもたちの成長に影響しているのであれば、政策としてなんとかしたい</p>
--	---

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第5回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年10月8日 19:00 ~ 20:30			
開催場所	鹿追町民ホール セミナーA室			
会議次第 配布資料等	会議次第は特になし 当日配布【分科会議事録7分科会13会議分 別紙の通り】			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 福原 尋義	出	戸草 勢一
	欠	代理 菊池 輝夫	出	伊藤 義一
	出	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	欠	武田 耕次	出	学校教育指導室長 横山 利幸
	出	大原 睦生		
	出	河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	出	藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要	第6期総合計画（案）基本計画（案） 学校教育課「連番85-89」に添って			
末永課長	<p>【1】</p> <p>本日は、第6期総合計画（案）基本計画（案）に対し、これまでに教育専門部会で協議した内容を盛り込み、検討したい。事務局で皆さんの意見を盛り込んだもの（案）を示すのでご意見いただきたい。</p> <p>資料「第6期総合計画（案）基本計画（案）一覧」と「第6期総合計画（案）基本計画（案）」の関連と見方について説明  <u>以下、第6期総合計画（案）基本計画（案）=原案と標記</u></p> <p>原案について説明          これまでの教育専門部会で議論に上がった話題と原案との関連についての説明</p> <p><b>基本目標</b>  <b>現状と課題</b>          幼稚園教育          第2回で話題になった【家庭教育】については2行目に盛り込まれている。「また、家庭教育の変化に伴い、～中略～」の部分</p> <p>小中学校教育          第2回目で話題になった【生きる力】については、1行目に国や道の考え方を考慮し、盛り込まれている</p>			



<p>説明概要</p>	<p>「今日の学校教育には、～中略～「生きる力」の育成を基本とした～以下省略～」の部分</p> <p>高等学校教育 高等学校は道教委の範疇であるので、「地域に根ざした魅力ある学校」や「国際理解（カナダ）」などと言った形で原案に盛り込んでいる。</p>
<p>未永課長</p>	<p>【 2 】</p> <p><b>施策の体系</b> <b>施策の具体的内容</b></p> <p>幼稚園教育の内容・方法の改善充実 教育課程の改善充実 幼小の連携推進 幼保一元化の推進 教職員の研修充実 環境を通して行う教育の整備充実 地域社会、家庭との連携充実</p> <p>最初、事務局の説明であったとおり、第6期で10年間の長期スパンではあるが、政策的に大きく変わる事例やそぐわないものなどがあれば計画の変更はできると言う事を前提にして欲しい。</p>
<p>未永課長</p>	<p>【 3 】</p> <p>小・中学校教育機会の充実 へき地・小規模校の教育の充実 特別支援教育の充実 就学援助の充実 鹿追高校や大学等修学に対する援助の充実 開かれた学校づくりの推進 文言の訂正1行目「地域の人材・施設の活用など地域の原則」「地域の教育資源」 小中高一貫教育の推進 少人数学級の推進</p>
<p>横山室長</p> <p>未永課長</p>	<p>【 4 】</p> <p>小・中学校教育内容・方法の改善充実 教育課程の改善充実 文言の追加1行目「生きる力の育成のために」「教育目標の具現化を目指し」「具現化を図り」以下同文（議論後「生きる力は「生きる力」へ変更） 学習指導の改善充実 道徳教育の充実 生徒指導の充実 進路指導の充実</p>

	<p>情報教育の推進 国際理解教育の推進</p> <p>21 環境教育の推進</p> <p>22 教職員の研修の充実</p> <p>23 自然体験留学制度の推進</p> <p>24 健康安全教育の充実 語句追加「健康安全教育の充実・食育推進」(議論後、事務局再考の必要)</p> <p>25 安心・安全な給食提供の充実(議論後、安心・安全な給食の充実へ変更)</p> <p>26 学校教育施設設備の整備充実</p>
--	---

議事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自立」という言葉を盛り込みたい。(自律ではない)</li> <li>・「現状と課題」「高等学校教育」の中に『環境教育』という言葉を入れたい。</li> <li>・ 幼児教育について「幼児の心身の発達や地域・家庭、園の実態など」と「幼児のニーズに応じた」の文言に違和感がある。</li> <li>・ に「情報の共有化」を入れたい</li> <li>・ 24で「健康安全教育の充実・食育推進」と「食育推進」が追加されたが、タイトルの中で食育推進と入れなくても良いのではないかと、もし、強調するのであれば、内容の文言で変えてみてはどうか。</li> <li>・ 特別支援を要する子が増えていると感じている。発達支援への幼児期から高校生までを一貫して支援できる体制づくり、行政的支援、人員配置を望む</li> </ul>
原案の変更	<p>現状と課題</p> <p>高等学校教育</p> <p>下から2行目</p> <p>(変更前)このため特に、情報教育、国際理解教育など特色ある教育活動の一層の推進が求められます。</p> <p>(変更後)このため特に、情報教育、国際理解教育、環境教育など特色ある教育活動の一層の推進が求められます。</p> <p>施策の具体的内容</p> <p>(変更前)～前略～地域の人材・施設の活用など地域の原則を生かした学校づくりを推進します。</p> <p>(変更後)～前略～地域の人材・施設の活用など地域の教育資源を生かし、情報の共有化を(目指)した学校づくりを推進します。</p>

(変更前)教育目標の具現化を目指し、地域や学校及び児童生徒の特性を生かした調和のとれた教育課程を改善充実します。

(変更後)「生きる力」の育成のために教育目標の具現化を図り、地域や学校及び児童生徒の特性を生かした調和のとれた教育課程を改善充実します。

(変更前)能力や適性に応じて自らの生き方を考え、進路の選択を適切に行えるような進路指導を推進します。

(変更後)能力や適性に応じて自らの生き方を考え、進路の選択を適切に行えるよう進路指導を推進します。

25

(変更前)安心・安全な給食提供の充実

(変更後)安心・安全な給食の充実

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第6回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年10月18日 19:00 ~ 21:00			
開催場所	鹿追町民ホール セミナー室 A			
会議次第 配布資料等	会議次第は特になし 当日配布資料 議事録 農業分科会（第2回）H22.10.6 商工業分科会（第1回）H22.10.13 社会教育 第6期総合計画と第5期総合計画体系の比較			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 福原 尋義	出	" 戸草 勢一
	出	代理 菊池 輝夫	出	" 伊藤 義一
	出	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	" 木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	出	" 武田 耕次		
	欠	" 大原 睦生		
	出	" 河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	出	" 藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要 大前課長	連番 90-98 【社会教育課】 90 家庭教育の推進 91 少年活動の推進 92 青年活動の推進 第3回部会の中で異世代・異業種交流を進めて欲しいという話が出ていたが、現在はピュアモルトで実施していることもあり、この中に包括されていると考えている。 93 成人活動の推進 各種講座の拡充に語句追加 冒頭に「社会変化に対応した各種教室・講座～略」と追加 94 高齢者活動の推進 95 公民館活動の推進 96 芸術文化活動			

<p>議事概要</p>	<p>91 少年活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの成長や少年活動を考えたときに「 健全育成の支援」「少年少女の健全育成の支援～以下略～」の文言で十分か、具体的にしたほうがいいのか、他の部分との（家庭教育など）関連もあるので再考してほしい</li> <li>・（このままの表現なら）等が入るのではないか。「少年少女の健全育成の支援（リーダー・ボランティア・国内研修等）を図ります」</li> <li>・ 子どもの健全育成については、ひとつひとつ上げるとキリがなく、社会教育も学校教育にも関連している。どう規範意識を作っていくのか、自分は生きているとどうやって実感させるのか、非常に多様で難しい。言葉で表すのは難しいと感じる。</li> </ul> <p>92 青年活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青年活動には活動内容を町民に理解してもらうことや PR、異世代交流での相互理解が大切</li> </ul> <p>94 高齢者活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「社会参加機会の提供と促進」とあるが、高齢者をもっと活用、高齢者の持っている経験や知識をもっと引き出せるような文言を取り入れられないか。</li> <li>・ 雰囲気作り、意識付け、呼び掛けなど、協力も大切</li> </ul> <p>95 公民館活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「分館長会議」が施策の内容に挙げるべき項目か疑問</li> </ul> <p>教育全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標や施策の具体的内容を第6期総合計画に挙げるのならば、第5期を踏襲するのではなく、携わる職員も本気でやってほしい。また組織づくりも大切</li> <li>・ 社会教育の職員には「人を育てる」という意識を持ってもらいたい</li> </ul> <p>まちづくり全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の地域から来た人（移住者など）から意見を聴くことも大事</li> </ul>
<p>原案の変更</p>	<p>93 成人活動の推進 各種講座の拡充</p> <p>（変更前） 「各種教室・講座・～略」</p> <p>（変更後）冒頭に追加「社会変化に対応した各種教室・講座・～略」</p>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第7回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年11月10日 19:00～20:45			
開催場所	鹿追町民ホール セミナー室B			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は特になし <input type="checkbox"/> 当日配布資料 ●議事録①高齢者分科会（第4回）H22.10.25			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 福原 尋義	出	〃 戸草 勢一
	出	代理 菊池 輝夫	出	〃 伊藤 義一
	出	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	〃 木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	欠	〃 武田 耕次		
	出	〃 大原 陸生		
	欠	〃 河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	欠	〃 藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要	-			
大前課長	<p>連番 97-100【社会教育課】</p> <p>97■スポーツ振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートに意見があり、第4回教育部会でも話題に挙がった「サッカー専用グラウンドの設置」如何について、総合グラウンドで兼用利用している。経済状況等を踏まえ、建設は第6期総合計画に盛り込む事は難しいと考えている →（討論後・異議の声なし）</li> </ul> <p>98■文化財保護活動</p> <p>99■図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4回教育部会で話題に挙がった新図書館の建設について             <ul style="list-style-type: none"> <li>①の図書館施設整備充実で「幼児から～中略～整備します。また、新図書館については検討を進めます。」と整理。</li> </ul> </li> </ul> <p>100■神田日勝記念美術館</p>			
議事概要	<p>97■スポーツ振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「施策の体系」・「施策の具体的内容」の中で「<u>■総合型地域スポーツクラブ調査・研究</u>」 「<u>⑩総合型地域スポーツクラブ設立推進</u>」となっていて不整合がある。（菊池代理）→担当と協議し次回以降に回答（大前課長）</li> <li>「現状と課題」が一部「である調」になっているので、整理してほしい。（福原部会長）→次回以降に回答（大前課長）</li> </ul>			

	<p>98■文化財保護活動</p> <p>99■図書館活動の充実  ・新図書館建設について、既存の施設の活用、新図書館建設に伴う町民負担の説明を受けた。現実、建てるのは難しいと感じる。しかしながら、意見が多いため第6期総合計画の中に盛り込む必要性を感じる。(菊池代理)</p> <p>100■神田日勝記念美術館活動の推進  ・④総合学習における「神田日勝学」について、ふるさと教育として神田日勝を学ぶことは素晴らしいことだが、「神田日勝学」と「学」をつけるのは如何なものか。(木幡委員) 変えたほうがいいかもしれない(伊藤委員) → 次回以降に回答(大前課長)</p> <p>【その他】  今町民が求めているものは、ハード面、建物ではなく中身の充実。何を建てたいと言える時代ではないと感じる(菊池代理・大原委員)</p>
<p>原案の変更</p>	<p>99■図書館活動の充実 ①利用者の為の図書館施設の整備  (変更前)「幼児から～略～整備します。」  (変更後)「幼児から～略～整備します。」語尾追加「また、新図書館については検討を進めます。」</p>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第8回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年11月24日 19:00 ~ 20:45			
開催場所	鹿追町民ホール セミナー室A			
会議次第 配布資料等	<p>会議次第は特になし 当日配布資料 第6期総合計画（案）基本計画（案）新旧対照表 第6期総合計画教育関係意見審議表（分科会意見） 鹿追町総合計画策定会議（部会長、部会長代理）議案 H22.11.22 開催</p>			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 福原 尋義	出	戸草 勢一
	出	代理 菊池 輝夫	出	伊藤 義一
	欠	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	出	武田 耕次		
	出	大原 睦生		
	出	河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	出	藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要	<p>第6期総合計画（案）基本計画（案）新旧対照表について 第6期総合計画教育関係意見審議表（分科会意見） 鹿追町総合計画策定会議（部会長、部会長代理）議案</p>			
議事概要	<p>第6期総合計画（案）基本計画（案）新旧対照表 【学校教育】 ・ 「開かれた学校づくりの推進」に「情報の共有化」の文言を入れるべきか否か議論 入れる 【社会教育・図書館】 ・ 最終行「文藝しかおい」は「鹿追文藝」が正しい</p> <p>第6期総合計画教育関係意見審議表（分科会意見）に対して ・ 不登校カウンセラーに対する意見に関連し、不登校問題など町全体で行政として関わられるような施設の設置を望む。（発達支援センターへ専門家の設置等）</p>			
原案の変更	<p>第6期総合計画（案）基本計画（案）新旧対照表 【学校教育】</p> <p>（変更前）～前略～地域の人材・施設の活用など地域の原則を生かした学校づくりを推進します。 （変更後）～前略～地域の人材・施設の活用など地域の教育資源を生かし、情報の共有化を目指した学校づくりを推進します。</p>			



	<p>【社会教育・図書館】 最終行 (変更前) 文藝しかおい (変更後) 鹿追文藝</p>
--	---

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	教育専門部会（第9回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 田中 朋子	
開催日時	平成22年12月15日 19:00 ~ 20:45			
開催場所	鹿追町民ホール セミナー室A			
会議次第 配布資料等	会議次第は特になし 当日配布資料 第6期総合計画（案）基本計画（案） 基本構想原案の訂正			
委員 事務局等 出 欠	出	部会長 福原 尋義	欠	〃 戸草 勢一
	出	代理 菊池 輝夫	出	〃 伊藤 義一
	出	委員 若原 政雄	出	学校教育課長 末永 収
	出	〃 木幡 裕人	出	社会教育課長 大前 健也
	出	〃 武田 耕次		
	欠	〃 大原 睦生		
	欠	〃 河辺 哲子	出	企画財政課 田中 朋子
	出	〃 藤江 操		
出席説明員	-			
説明概要	第6期総合計画（案）基本計画（案）について 基本構想原案の訂正			
議事概要	<p>第6期総合計画（案）基本計画（案） （意見異議なし）</p> <p>基本構想（案）について 基本構想（案）については提案された内容で了承。 （但し、考え方は以下の通りであり、実施計画の中等で生かしてもらいたい。）</p> <p>人口問題・産業構造について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口問題は産業構造の問題でもある。起業に関心を持たなければならない。</li> <li>・地元の高校の卒業生など若い人のために働く場を作り一人前に育てることが必要。</li> <li>・人口減少の中で、若い人たちが少しでも希望がもてる状況を作り出してやらなくてはならない、それが課題だろう。一方で都市部の若い人たちの中に農業に関心を持ち始めて実践している人が増えている。そういう人たちにこの地方からメッセージを発する事が大切で、大きな可能性のひとつだと思う。</li> <li>・「教育による町おこし」。長期展望の中で、教育と町おこしを繋げることはできないだろうか。</li> <li>・山村留学や小中高一貫教育、カナダ研修などは、可能性のある魅力的な取組みである。</li> <li>・瓜幕の山村留学制度、産業研修、グリーンツーリズムなどこれまでの取組</li> </ul>			

みにより人口減少の幅が減っている。これは、これまでの実績であり、町おこしにもなっている。これからも伸びる可能性がある

- ・ 目標人口を 6,000 人に設定はできないだろうか

#### 町づくりのあり方・コミュニティについて

- ・ 地域が無事である、地域に住み続けられるためには何が必要か。その問題がこれから出てくると思う。地域が無事であることが地域を存続できることである。
- ・ 鹿追町は本当の意味で困っていないので方向転換をするという考えが出来ていない。人口増の対策など基本構想からはあまり感じられない
- ・ 今後、独居老人が増えて買い物に行けなくなるなど想定されるが、行政で全てやるのは難しい。それを支える仕組みづくりが必要であり、そこに価値を見出すことが大事。
- ・ コミュニティのあり方について、重要性について施策の中に盛り込んで欲しい。
- ・ 「鹿追町の特性」の中にバイオガспラントを挙げているならば、企業化するなど鹿追町の産業と結びつけられないだろうか。もっと策があってもいいと思う。
- ・ やさしい町づくり。高齢者や障害を持った子どもたちが就労できる町づくりを進めてほしい。

教育専門部会会議は 9 回をもって審議終了し、審議会・策定会議等において部会の審議が必要と判断された場合は開催する。